

中越森林管理署 イヌワシ保全シンポジウム

～森林施業からみたイヌワシの保全について～

平成26年2月6日（木）、南魚沼市民会館多目的ホールにおいて「中越森林管理署イヌワシ保全シンポジウム」を開催しました。

プログラム構成

(1) 基調講演

- ①「イヌワシの生態と生息地保全」
日本イヌワシ研究会副会長 須藤明子氏
- ②「新潟の農林業とイヌワシ」
新潟県イヌワシ保全研究会代表 柳川雅文氏
- ③「里山林の生態系の維持」
(独)森林総合研究所開函支所主任研究員 大住克博氏



基調講演のようす

基調講演ではイヌワシの現状・保全の必要性はもちろん、中越森林管理署管内国有林での採餌空間確保を考えた森林施業、また地域に身近な里山林とイヌワシ等野生生物との関わり等々、多くのことを学ぶことができました。

(2) パネルディスカッション

コーディネーター 宇都宮大学名誉教授 谷本丈夫氏



パネルディスカッションのようす



参加者は総勢128名

パネルディスカッションでは、会場も巻き込んで森林生態系の維持のために、何ができるのか、何をすべきなのかを全員で考える機会となりました。

参加者からは、「イヌワシの生態が良く分かった」「自分達がやれることを考えたい」「定期的開催してほしい」等の意見をいただき、今後の森林施業を考えるうえで、非常に有意義な時間となりました。